

平成19年度 岐阜県高等学校新人バスケットボール大会
 兼 東海高等学校新人バスケットボール大会県予選会
 最終日:平成20年2月3日(日)
 会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム

男子の部

< 審判 >

5位決定戦 美濃加茂 92 $\left[\begin{array}{l} 29 - 21 \\ 18 - 22 \\ 18 - 20 \\ 27 - 25 \end{array} \right]$ 88 恵那 三宅浩平・三浦広和

決勝リーグ 岐阜総合 87 $\left[\begin{array}{l} 22 - 18 \\ 23 - 13 \\ 24 - 20 \\ 18 - 18 \end{array} \right]$ 69 中津川工 相宮俊郎・宮崎泰彦
 (2勝) (2敗)

両チームハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜総合はインターセプトからの速攻で、長尾、寺井が得点をあげると、中津川工は田口のドライブ、谷本の3点シュートで食い下がる。第1ピリオドは22-18と岐阜総合がリードする。

第2ピリオドに入ると、岐阜総合は1-2-2のゾーンプレスでプレッシャーを強め、長尾のシュート、松井の3点シュートなどで点差を広げる。中津川工も田口、谷本の3点シュートなどで追いつけるが、相手の速攻を止められない。前半は岐阜総合が45-31とリードして折り返す。

第3ピリオドに入ると、岐阜総合はオフェンスのリズムが良く、田代がインサイド、アウトサイドとも得点を重ね、次第に点差が開いていく。中津川工も島津、原が粘りを見せるが、点差を縮めることができない。

第4ピリオド、岐阜総合はベンチメンバーを投入するも危なげなくゲームを進め、87-69で勝利し、決勝リーグの2勝目をあげた。中津川工もオールコートマンツーマンで必死のディフェンスを見せたが、追いつけられなかった。(井口貢志)

決勝リーグ 岐阜農林 108 $\left[\begin{array}{l} 29 - 19 \\ 22 - 6 \\ 41 - 25 \\ 16 - 16 \end{array} \right]$ 66 高山西 棚橋英一・菅野浩
 (2勝) (2敗)

岐阜農林は序盤から、加藤のドライブからのジャンプシュートや、今井の速攻など、流れに乗った攻撃で次々に得点をあげる。対する高山西は、中崎のシュートや、松井の3点シュートで追いつけるが、ディフェンスが追いつかない。第1ピリオドは岐阜農林が29-19とリードを奪う。

第2ピリオドに入っても、勢いのついた岐阜農林は、川崎、今井のインサイドを中心に得点を積み重ね、前半を51-25とリードして折り返す。高山西はミスが多く、ディフェンスが崩れた。

第3ピリオドに入って、岐阜農林はメンバーを入れ替えるも、高橋、田口のシュートでさらに得点を重ねる。

第4ピリオドには岐阜農林は、高橋、安江らもシュートを決め、108-66と大差で高山西を下し、決勝リーグの2勝目をあげた。高山西も光賀、西、中崎がよくシュートを決めるも、ディフェンスを破られ守りきれなかった。(深尾武史)

決勝リーグ 岐阜総合 89 $\left[\begin{array}{l} 19 - 13 \\ 22 - 12 \\ 20 - 16 \\ 28 - 12 \end{array} \right]$ 53 岐阜農林 室谷伸治・大江裕之
 (3勝) (2勝1敗)

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。岐阜総合は出だしこそリードを奪われたが、ディフェンスを2-3ゾーンに切り換えるとオフェンスもリズムもよくなり、長尾のミドルシュート、田代の3点シュートで逆転し、19-13とリードする。岐阜農林は川崎の3点シュートや滝沢のミドルシュートでリードしたものの、相手のゾーンを攻めきれずミスが出た。

第2ピリオドも岐阜総合のゾーンディフェンスが成功し、インターセプトからの速攻や、松井の連続得点でリードを広げる。岐阜農林は小林のスピードあるボール運びから、下瀬、川崎の3点シュートで対抗するが点差は縮まらない。前半は岐阜総合が41-25とリードする。

第3ピリオド、岐阜総合は寺井、長尾の巧みなシュートや、岡島のオフェンスリバウンドでリードをさらに広げる。岐阜農林は激しいディフェンスから川崎の連続得点などで追い上げる。

第4ピリオド、岐阜総合はリバウンドからの速攻や、寺井、桐山のシュートでリードを譲らず、89-53で勝利して、11月の県選抜大会に続いて県新人大会も制した。岐阜農林は小林を起点とした速い攻めで追い上げを図るが、相手の激しいゾーンディフェンスを攻めきれなかった。(原田健)

決勝 リーグ	中津川工	97	$\begin{bmatrix} 24 - 12 \\ 32 - 21 \\ 20 - 10 \\ 21 - 16 \end{bmatrix}$	59	高山西	西尾 司・山田祐治

2敗同士で東海新人大会出場をかけた1戦となった。中津川工は開始直後の和田井の3点シュートに始まり、田口、原の速いゲーム運びに、谷本、加藤らが次々にシュートを決め、第1ピリオドを24-12とリードする。対する高山西は、オールコートマンツーマンで相手のミスを誘い、田谷、光賀がシュートを決めるが、オフェンスミスが多く攻めきれない。

第2ピリオドも中津川工はハーフマンツーマンからオールコートマンツーマンに切り換え、相手のミスに乗じて谷本、原、島津らがシュートを決め、前半は中津川工が56-33と大きくリードを奪う。

第3ピリオドも中津川工は激しいディフェンスから相手のミスを誘い、和田井、原らがシュートを決め相手の反撃を許さない。

第4ピリオドも相手のディフェンスが変化しても冷静にゲームを運び、97-59で中津川工が勝利して、東海新人大会の出場権を獲得した。高山西も相手のディフェンスに苦しみながらも、光賀、田谷、中崎がよくシュートを決めたが、相手の速さとプレッシャーに圧倒された。(鈴木雅雄)

女子の部

< 審判 >

5位決定 戦	大垣商業	60	$\begin{bmatrix} 16 - 18 \\ 17 - 3 \\ 16 - 19 \\ 11 - 10 \end{bmatrix}$	50	中津	小森邦弘・小池匡弥

決勝 リーグ	岐阜女子	97	$\begin{bmatrix} 34 - 3 \\ 28 - 8 \\ 18 - 14 \\ 17 - 9 \end{bmatrix}$	34	高山西	岩永英夫・津田健介

第1ピリオド、岐阜女子は宮部の8連続得点を皮切りに、上原の3点シュート、中村の速攻などで34-3と一気にリードを奪う。

第2ピリオドに入っても、岐阜女子は汪のポストプレーを中心に次々とシュートを決める。高山西も武を起点に反撃を試みるが、相手の厳しいディフェンスを崩せない。前半は岐阜女子が62-11と大量リードを奪う。

第3ピリオドに入っても、岐阜女子は荒井の3点シュートなどで積極的に攻め続け、リードを守る。高山西も激しいディフェンスから朝熊を中心に速攻で流れをつかみ、反撃に出る。

第4ピリオドに入っても、岐阜女子は荒井の3点シュート、西尾、安江のシュートがよく決まり、97-34で勝ち、決勝リーグ2勝目をあげた。高山西も途中出場の手が懸命なプレーを続けたが、相手のディフェンスを崩せなかった。(杉山博宣)

決勝 リーグ	県岐阜商	92	$\begin{bmatrix} 18 - 15 \\ 34 - 4 \\ 21 - 8 \\ 19 - 23 \end{bmatrix}$	50	岐阜総合	角平和優・赤石恵美子

両チームマンツーマンディフェンスでスタート。県岐阜商は 前田を中心にインサイドで得点をあげる。対する岐阜総合は 前田、澤田の3点シュートで応戦し、互角の戦いとなる。

第2ピリオドに入ると、県岐阜商は足を使ったディフェンスで相手を抑え込むと、オフェンスのリズムもよくなり、前田のインサイド、宮ノ脇、吉田、山田の3点シュートが次々と決まり、一気にリードを奪って、前半は県岐阜商が52-19と大量リードで前半を折り返す。

第3ピリオドに入っても、県岐阜商は攻撃の手をゆるめず、力強いディフェンスから内外角バランスのよい攻撃で、渡邊、宮ノ脇らが次々にシュートを決めていく。岐阜総合は 前田を軸に、尾関、下里らがシュートを決めるが、差を縮めるには至らない。

第4ピリオド、ベンチメンバーがよく走った県岐阜商は、馬場、小倉らがシュートを決め、最後は92-50で勝利し、決勝リーグ2勝目をあげた。岐阜総合も 前田が孤軍奮闘の活躍をみせたが、相手の力強いディフェンスを破ることはできなかった。(三浦広和)

決勝 リーグ	岐阜女子	83	$\begin{bmatrix} 15 - 14 \\ 11 - 9 \\ 27 - 11 \\ 30 - 17 \end{bmatrix}$	51	県岐阜商	増田博徳・松野瑞穂

第1ピリオド、岐阜女子2-2-1ゾーンプレス、県岐阜商マンツーマンで始まる。岐阜女子は 上原がゲームをコントロールし、宮部の3点シュートなどでリードを奪う。一方県岐阜商もインターセプトから果敢に攻め、宮ノ脇の3点シュートなどで追い上げる。第1ピリオドは岐阜女子が1点リードする。

第2ピリオドに入ると、岐阜女子は 荒井の3点シュート、汪のゴール下シュートが決まるがなかなか点差は開かない。県岐阜商も相手の粘り強いディフェンスにシュート阻まれるが、ファウルで得たフリースローを確実に決め追いすが。前半は岐阜女子が26-23と3点リードで折り返す。

第3ピリオドに入ると、岐阜女子は相手のミスに乗じて、汪にボールを集めそれを起点にして、宮部、上原らがシュートを決め、一気に差を広げる。県岐阜商は 前田の連続3点シュートが決まるものの、ディフェンスの脚が止まりリズムを悪くする。

第4ピリオドも岐阜女子は 宮部、中村、上原の3点シュートが次々に決まり、さらに点差を広げ83-51で勝利し、18年連続19回目の優勝を飾った。県岐阜商もディフェンスの粘りを見せ、宮ノ脇、渡邊がシュートを決めるが、追い切れなかった。(岩水みね代)

決勝 リーグ	高山西	81	$\begin{bmatrix} 13 - 15 \\ 22 - 20 \\ 28 - 7 \\ 18 - 16 \end{bmatrix}$	58	岐阜総合	小牧秀則・長屋 貴

第1ピリオド、互いに激しいディフェンスで相手のしたいプレーをさせず、岐阜総合が15-13とわずか2点のリードを奪う。

第2ピリオドに入っても互いに譲らない展開となる。岐阜総合が 前田の2本の3点シュートや、下里のシュートでリードすれば、高山西も 武にボールを集めて、朝熊、原がシュートを決める。前半は35-35と互角の展開となった。

第3ピリオドに入ると高山西は 武のポストシュート、井川の3点シュートなどが次々に決まり、一気に点差を広げ63-42と21点差をつけて第4ピリオドを迎える。

第4ピリオドに入っても、高山西は 朝熊の速いパス回しから 井上、井川がシュートを決め、粘る相手の振り切って決勝リーグの1勝をあげ、東海新人大会の出場権を得た。岐阜総合も激しいマンツーマンから反撃し、下里が23点をあげる活躍をしたが遅すぎた。(林 香奈江)